

羅木といひしが如きは是也。翠寒堂の材、夫等の物に異なるが故に、其物をわかつべきためにこそ、日本羅木とはいひたるらめ、その羅といひしは、埤雅樾一名羅といふ事を釋して、其文細密如羅故曰羅也といひしが如くに、此樹其文細密如羅なりければ、かく名づけいふ、又此樹歲寒を凌ぎて、色を落さざるものなれば、其材を得て建られし堂を、翠寒とは名づけられしなるべし、さらば其羅木といふものは、我國にいふ所のヒノキ即是なりとこそ見えたれ、

〔和漢三才圖會八十二〕香木 檜音 檜 和名非 言火乃木也、幸種倭俗 左木久佐〇中

按本草綱目柏葉松身者檜也、其葉尖硬、一名栝又云栝、蓋此時珍誤、檜與栝二種相混註之乎、檜葉不尖硬而似柏葉而肥厚、有繩文、栝直枝、檜曲枝、其樹相摩、則有出火故名火木、其實纍纍似杉實而無刺、又有無實者、今人盛饅頭器鋪檜葉、不知其據焉、其材白、濃密無樗而美也、能可堪水濕、宜爲屋柱、宜作箱器、最良材也、以覆宮屋謂之檢皮葺、土州之產堅而宜柱材、尾州之產柔而宜器木、

〔重修本草綱目啓蒙二十三〕香木 柏〇中

柏ノ類多シ、凡ソ單ニ柏ト稱スルハ、側柏扁柏ヲ通ジテ言フ〇中、扁柏ハヒノキナリ、葉平ニ布テ生ズ、故ニ扁柏ト云フ、其葉面綠色ニシテ背ニ白脈アリ〇中、

增〇中 扁柏ノ類數種アリ、朝鮮ヒバト呼ブモノアリ、扁柏ニ似テ葉小サク、皺ミアリテ繁密ナリ、

盆ニ栽テ玩ブ、大木ニナラズ、一種忠七ヒバト云アリ、朝鮮ヒバニ似テ、枝軟カニシテ長ク、葉繁密

ナリ、一種孔雀ヒバハ、枝細長ク軟ニシテ、葉兩方ヘ密ニ生ズルコト、ムカデグサノ葉ノ如ク、孔雀

ノ尾ノ狀ノ如シ、一種シノブヒバト云アリ、枝葉共ニ細クシテ、海州骨碎補葉ノ如シ、

〔廣益國產考二〕檜別ひのきにあすならふ一種あり

檜は堂塔伽藍神社佛閣武家町家の家造りに至る迄、なくて叶はざる良材なり、此木植る土地は、杉と粗かはる事なければ別に記さず、苗のまき方育方も同じければ、杉苗の拵へかたに見合す